

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 京谷 幸一 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	7 億円 内用地補償費 5.4 億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (主)津名一宮線	津名郡一宮町多賀		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
津名郡一宮町多賀				平成 15 年度	平成 19 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自転車歩行者道を整備し、歩行者・自転車と自動車との分離を図り、交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備(片側) L = 9 0 0 m W = 3 . 0 (4 . 0) m		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、自転車・歩行者交通量が多い。 (自動車 5,983 台/日、歩行者 30 人/日、自転車 361 台/日) ・過去 5 年間の自転車・歩行者の交通事故 (2 件)。 ・死傷事故率 (4 5 人/億台 km)。 ・多賀小学校 (約 400m) 一宮中学校 (約 500m) の通学路であり、淡路高校 (分校) 津名高校への自転車通学の路線ともなっている。 ・県立淡路文化会館等文化施設、年間参拝者百万人の伊弉諾神宮が隣接しているため観光道路であり、終点付近は郡家商店街、警察署、町役場に近接しており生活道路でもある。 ・「福祉のまちづくり重点地区 (多賀地区)」内における事業。 ・住民参加による交通安全総点検実施地区内での事業。 ・前後の整備状況 (起点側 : 整備済み、終点側 : 次期事業化を検討)。 ・幅広歩道の整備 (4 . 0 m)。 ・地元の事業化要望あり。 				
その他					
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な用地取得に向けて、地元協力体制等事業執行環境が整っている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の確保、透水性舗装、植樹帯 (香りの町一宮町の特色を示すハーブ : 「あわじ花回廊構想」における「C . 中淡路周遊ルート」) の採用により、道路交通環境の改善が図られる。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当区間は「福祉のまちづくり重点地区」内にあり、小・中学校の通学路にも指定されている。その上周辺には公共施設等があり、年間参拝者百万人の伊弉諾神宮等も隣接していることから、多様な通行状況で歩行者や自転車の交通量も多い。このため、自転車・歩行者の交通事故が発生しており、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。 				